

BCPに基づく病院災害対策

日常から「不測の事態」を分析し、
自らの施設の脆弱な点を洗い出し、
その弱い部分を事前に補うよう備えておきましょう。

1. 病院におけるBCPに基づく災害対策

(1) 背景

病院における災害対応マニュアルについて・・・

「災害時における初期救急医療体制の充実強化について」

一般企業や行政における

「事業継続計画 business continuity plan; BCP」

病院におけるマニュアルの再構築にも不可欠なものとして認識

(2) B C P

震災などの緊急時に低下する業務遂行能力を補う
非常時 優先業務を開始するための計画

必要な人材・資源、その配分を準備・計画

B C Pの考え方

事業をできるだけダメージを少なく継続

復旧のため、リスク管理の立場で「不測の事態」を分析

施設の脆弱な点を洗い出し、弱い部分を事前に補うよう備えておく

**病院機能維持のための準備体制
方策をまとめた計画**

BCPの進め方

- ①方針の決定
- ②計画
- ③実施および運用
- ④教育・訓練の実施
- ⑤点検および是正処置
- ⑥経営層による見直し

継続計画が改善

- ①方針
- ②マニュアル・プラン・アクションカードの策定
- ③教育・研修・訓練
- ④実践
- ⑤実践・訓練の検証
- ⑥対応策の改善

(3) 病院におけるBCP

災害時の病院における事業の中心は病院機能を維持した上での被災患者を含めた患者すべての診療

発災直後からの初動期、急性期その後、亜急性期、慢性期へと変化する災害のフェーズに対して継ぎ目無く可及的円滑に行われる

病院の被災状況、地域における病院の特性、地域でのニーズの変化に耐えうる

損失を最小限・機能の立上げ・回復
継続的に被災患者の診療にあたるような計画
(BCP) マニュアル作り